



神奈川県
教育委員会

令和元年度（平成 30 年度施策・事業対象）
教育委員会の点検・評価

令和元年 5 月

はじめに

県教育委員会では、明日のかながわを担う人づくりを進めるため、本県の教育の総合的な指針となる「かながわ教育ビジョン」（以下「教育ビジョン」という。）を平成19年8月に策定しました。

この教育ビジョンでは、基本理念として「未来を拓く・創る・生きる 人間力あふれる かながわの人づくり」を掲げ、自己肯定感を基盤とした「思いやる力」「たくましく生きる力」「社会とかかわる力」の育成を教育目標として、各種の教育施策に取り組んでおります。

そして、教育ビジョンに基づく教育施策等の管理執行については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「教育委員会の点検・評価」の実施によって、効果的な推進に努めているところです。

これまで、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要な力を身に付けられるよう、急激な少子高齢化や、グローバル化の進展などの社会の変化に見合った教育の質を確保するとともに、教員の働き方改革の推進や東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の開催など本県を取り巻く環境を踏まえ、様々な教育施策に取り組んできました。

平成30年度は、県立高校改革実施計画（I期）に位置付けた県立高校へのコミュニティ・スクールの導入を着実に進めるとともに、新たに県立特別支援学校への導入も始めました。また、ともに生きる社会づくりに向けて、高等学校での通級指導を開始し、インクルーシブ教育の推進に取り組んできました。

今後とも、教育ビジョンで掲げた理念の実現に向け、「点検・評価」の結果を施策・事業の改善に役立てながら、取組みを進めてまいりますので、県民の皆様には、本報告書をご覧いただき、県教育委員会の取組みに対するご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

令和元年5月

神奈川県教育委員会

目次

■	教育委員会委員のメッセージ	1
■	点検・評価の概要	5
1	趣旨	5
2	点検・評価の対象	5
3	点検・評価の方法	6
■	教育委員会について	7
1	教育委員会の概要	7
2	教育委員会の構成員	7
3	教育委員会委員の活動	7
4	教育委員会会議の開催実績	10
5	教育委員会委員が出席した会議・行事等	13
■	点検・評価結果	15
○	点検・評価結果の構成	15
○	令和元年度点検・評価 対象施策・事業一覧表	16
I	生涯学習社会における人づくり	18
1	思いやる力やたくましく生きる力を身に付ける自分づくりへの支援の充実	18
2	社会とかかわる力を身に付ける自分づくりへの支援の充実	22
3	生涯にわたる自分づくりの推進に向けた協働・連携の拡大・充実	25
II	共生社会づくりにかかわる人づくり	28
1	豊かな心を育む教育の充実と、不登校、いじめ・暴力行為への対応の強化	28
2	インクルーシブ教育の推進	39
3	「外国につながるのある児童・生徒」への指導・支援の充実	45
III	学びを通じた地域の教育力の向上	48
1	社会教育施設や学校等を活用した地域での学びの場づくりの推進	48
2	地域力を生かしたコミュニティ・スクールの普及と充実	50

IV	子育て・家庭教育への支援	52
1	子どもの社会的な経験の機会の充実	52
2	子育て・家庭教育への理解と環境づくり	55
V	学び高め合う学校教育	58
1	確かな学力の向上を図る取組みの充実	58
2	生き方や社会を学ぶ教育の充実	65
3	グローバル化などに対応した教育の推進	68
VI	意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり	76
1	かながわの人づくりを担う教職員の確保・育成の計画的な推進	76
2	学校支援や教職員研修に関するセンター機能の充実と強化	83
3	信頼に根ざした活力と魅力にあふれた学校づくり	85
4	学校評価や第三者評価を活用した学校経営の推進	93
VII	県立学校の教育環境の改善	95
1	豊かな学びを実現する教育環境の整備	95
2	効率的で主体的な学校運営の推進のための教育環境の改善	98
VIII	文化芸術・スポーツの振興	100
1	かながわの魅力ある歴史・文化芸術等の充実と継承・発展	100
2	健康で豊かな生活の実現とスポーツの振興	104
■	資料	115
○	かながわ教育ビジョン（概要）	116
○	平成30年度教育委員会予算体系図	120
○	平成30年度県立高校改革関連主要事業	124
○	附属機関	126
○	関連ホームページのご案内	128
○	学校統計一覧	130
○	関係法令	131

※ 「平成31年度」及び「令和元年度」の年度表記については、「令和元年度」に統一しています。（高等学校入学者選抜については、「平成31年度神奈川県公立高等学校入学者選抜」として実施し、終了したため、「平成31年度」と表記しています。）



教育長 桐谷 次郎

超スマート社会（Society5.0）の実現に向けてAIなどの技術革新やグローバル化が急速に進んでおり、こうした時代の変化に対応した教育が求められています。

そこで、本県では、グローバル人材や情報化人材の育成を進めるため、小学校への英語専科教員の配置や、県立高校等へのタブレット型端末の整備拡充などに取り組みます。

また、共生社会の実現に向け、県内すべての学校で実施している「いのちの授業」の取組みを家庭や地域へ広げたり、令和2年度には県立高校における「実践推進校」での取組みを拡大するなど、小学校段階から高校段階まで連続したインクルーシブ教育を全县で展開します。

こうした取組みによって、明日のかながわを担う人づくりを進めてまいります。



教育委員会委員 高橋 勝

これからの教育を考える上で大事なことは、どの子どもも平等に扱われ、公平な教育を受けられることに加えて、一人ひとり異なる思考や学びのスタイルを認め、個に応じた支援を進めていくことではないかと考えています。前者は、公平な教育機会を保障するという課題であり、後者は、個々の子どもが自分らしさを失わずに学べるという個性尊重の課題です。但し、ここで注意しておきたいのは、子どものある行動特性を見て、何らかの個性のラベルを貼ってしまわないことです。子どもは、日々刻々と変化し成長し続けています。今日は計算が嫌いでも、ちょっとした指導の工夫で、明日は好きになるかもしれません。決め付けずに、伸びる可能性にかけること。早急にラベルを貼る前に、子どもの変化の兆しをじっと待つこと。これは、教育者の基本であると思われまます。すぐに結果を求めたり、ものごとを決め付けたりしがちな風潮もあるだけに、私たちは、辛抱強く子どもの成長を見守っていきたいと思います。



教育委員会委員 河野 真理子

令和元号となりました。予測困難な時代ともいわれる中、どのような時代になっても一人ひとりがよりよく生きていくこと（well-being）ができるよう、よりよい教育の在り方を検討し学校運営をしていくためには、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）やインクルーシブ教育などにおいて、学校と地域の皆さんとの連携・協働がとても重要なことと考えています。

また、人生100歳時代、一人ひとりがどう生きていくかは社会全体の活力にもつながる大切な課題です。豊かな人生（healthy aging：健康長寿）に向け社会参画が重視される中、生涯学習・生涯活躍の視点から、社会教育の情報提供・支援・環境整備がますます重要になると考えています。

神奈川の多様性（diversity）を大切にし、よりよい学びの場づくりに努めてまいります。



教育委員会委員 吉田 勝明

平成25（2013）年10月16日、教育委員としての大役を賜り、早くも5年7か月、2期目を迎えます。これまでに多くの学校・美術館・図書館そして教育施設等の視察を通じて、自身の教養を深めるとともに教育行政に対して種々の意見を述べさせていただきました。このことが必ずしも神奈川県における教育行政の発展に明確な結果を出せてきたのかどうか、自信はありませんが、私なりのライフワークとして続けていきたい方向性が見えてきました。今後は世界を変えるための17の目標（SDGs）の4番目に記載されている「すべての人に質の高い教育を」を实践すべく、主にインクルーシブ教育・不登校そして虐待等を中心とした子どもたちの心の問題、子どもたちの体力向上等に貢献したいと思っています。



教育委員会委員 笠原 陽子

新しい学習指導要領には、これからの社会が、どのように変化しても、自ら課題を見付け、学び、考え、判断して行動し、子どもたち一人ひとりが思い描く幸せや未来を実現してほしいという願いが込められています。そして、そのプロセスに関わる教師の役割として、子どもたちの豊かな感性に働きかけることで、新たな気付きにつながる指導が期待されています。

各学校においてこうした創造的な教育が実践できるよう、微力ではありますが、引き続き環境づくりに全力で取り組んでまいります。



教育委員会委員 佐藤 麻子

高校生の頃、「成長」とは、折々に自らの進む道を選んでいくことであり、できることが増えていくというより、むしろ可能性を狭めていく過程ではないのかと不安に思ったことを覚えています。その後、自分自身も様々な学びを重ねてきました。今言えるのは、この年になっても、自分の前にある選択肢は未だ無限であり、様々な可能性を選び取っていけるということです。

教育委員会は、合議制の執行機関です。合議制とされているのは、さまざまなバックグラウンドを持つ委員の合議により多様な意見を採り入れた意思決定を行うためです。

自分の経験や知見を活かし、神奈川の子どもたちのよりよい学びのために力を尽くしてまいります。

点検・評価の概要

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）が平成19年6月に改正、平成20年4月から施行されたことに伴い、各教育委員会は毎年、その教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

県教育委員会の活動については、広報紙や広報番組、ホームページ等の様々な方法により県民の皆様にお知らせしているところですが、法に基づき「教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、その結果を公表するものです（平成20年度から毎年度1回実施）。

2 点検・評価の対象

本県の教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」において、今日の教育課題を解決していくため、特に集中的・横断的に進めていく必要のある「第5章 重点的な取組み」については、主なものを県の総合計画である「かながわグランドデザイン」の実施計画に位置付けて取り組んできました。

平成30年度については、「かながわ教育ビジョン」の第5章に沿って、「かながわグランドデザイン」第2期実施計画等に位置付けた施策・事業に係る主な取組みを点検・評価の対象としています。

（16ページ「令和元年度点検・評価 対象施策・事業一覧表」参照）

<点検・評価の柱立て>

大 柱	中 柱
I 生涯学習社会における人づくり	1 思いやる力やたくましく生きる力を身に付ける自分づくりへの支援の充実 2 社会とかかわる力を身に付ける自分づくりへの支援の充実 3 生涯にわたる自分づくりの推進に向けた協働・連携の拡大・充実
II 共生社会づくりにかかわる人づくり	1 豊かな心を育む教育の充実と、不登校、いじめ・暴力行為への対応の強化 2 インクルーシブ教育の推進 3 「外国につながるのある児童・生徒」への指導・支援の充実
III 学びを通じた地域の教育力の向上	1 社会教育施設や学校等を活用した地域での学びの場づくりの推進 2 地域力を生かしたコミュニティ・スクールの普及と充実
IV 子育て・家庭教育への支援	1 子どもの社会的な経験の機会の充実 2 子育て・家庭教育への理解と環境づくり
V 学び高め合う学校教育	1 確かな学力の向上を図る取組みの充実 2 生き方や社会を学ぶ教育の充実 3 グローバル化などに対応した教育の推進
VI 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり	1 かながわの人づくりを担う教職員の確保・育成の計画的な推進 2 学校支援や教職員研修に関するセンター機能の充実と強化 3 信頼に根ざした活力と魅力にあふれた学校づくり 4 学校評価や第三者評価を活用した学校経営の推進
VII 県立学校の教育環境の改善	1 豊かな学びを実現する教育環境の整備 2 効率的で主体的な学校運営の推進のための教育環境の改善
VIII 文化芸術・スポーツの振興	1 かながわの魅力ある歴史・文化芸術等の充実と継承・発展 2 健康で豊かな生活の実現とスポーツの振興

3 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、各大柱に位置付けられた中柱ごとに、取組概要及び自己評価を記載しています。

また、法に基づき、点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者などの有識者にご意見やご助言を取りまとめていただきました。

さらに、有識者からのご意見を踏まえ、本県の教育行政における今後の取組みの対応方向を記載しています。

<有識者氏名及び役職>

(五十音順 敬称略)

氏名	役職
石塚 崇	NPO教育かながわフォーラム 顧問
阪本 光章	神奈川新聞社地域連携局CSR事業部 担当部長
笹原 和織	神奈川県PTA協議会 会長
佐藤 晴雄	日本大学文理学部 教授
高木 まさき	横浜国立大学 理事・副学長
田代 正樹	株式会社たしろ薬品 代表取締役社長
内藤 昌孝	神奈川工科大学 顧問

(役職は、平成31年4月1日現在)

教育委員会について

1 教育委員会の概要

教育委員会は、教育長及び5人の委員（計6人）をもって構成され、この6人の合議により、教育行政の運営に関する基本方針を決定します。

会議は、教育長が招集し、教育長及び在任委員の過半数の出席により開催され、出席者の過半数で議決されます。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を会議にかけるのではなく、日常的な事務等一定の事務については、教育長に委任されています。

2 教育委員会の構成員

(平成31年4月1日現在)

職名	氏名	現職等
教育長	桐谷次郎	—
委員	高橋勝	横浜国立大学名誉教授
委員	河野真理子	株式会社キャリアン代表取締役
委員	吉田勝明	横浜相原病院病院長
委員	笠原陽子	玉川大学大学院教育学研究科教授
委員	佐藤麻子	R&G横浜法律事務所弁護士

3 教育委員会委員の活動

(1) 教育委員会会議

教育委員会委員は、毎月開催される教育委員会定例会及び臨時会に出席します。（10ページ「4 教育委員会会議の開催実績」参照）

また、審議に当たっては、事前に委員一人ひとりが、議案や協議事項について十分な調査や研究を行い、教育委員会会議に合わせて開催している委員協議会で様々な研究協議を行うなど、教育行政の改善・推進に向けた審議の充実に努めています。

(2) その他の活動

教育委員会委員は、教育委員会会議での審議のほか、「かながわ教育ビジョン」に基づく施策の推進に資するよう、教育にかかわる各種会議・行事への出席や施設訪問等を行い、委員会活動の充実に努めています。

平成30年度は、県教育委員会主催事業への参加のほか、各学校や教育施設に出向き、児童・生徒や教職員等との意見交換や交流を通じて、教育現場の現状把握に努めました。（13ページ「5 教育委員会委員が出席した会議・行事等」参照）

催事への参加

平成30年7月26日ほか1回
インクルーシブ教育推進フォーラム
(於：海老名市文化会館ほか)



共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ共に学び共に育つ「インクルーシブ教育」を推進するためのフォーラムに出席し、挨拶しました。

平成30年10月20日
かながわ教育月間フォーラム
(於：県立弥栄高等学校)



県立弥栄高等学校の地域連携や教育活動に焦点をあて、身近な話題から、グループにわかれて考えるワークショップ「かながわ教育月間フォーラム」を視察し、挨拶を行いました。

平成30年11月3日
かながわ人づくりコロボ2018
(於：横浜西公会堂)



かながわ教育ビジョンに基づき、「人づくり」の一層の推進を図る「かながわ人づくりコロボ2018」でパネリストとして登壇し、意見交換を行いました。

平成30年11月10日、11日
神奈川県産業教育フェア
(於：新都市ホール)



県内の専門高校（農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉、総合産業）で学ぶ生徒たちが学習成果を発表するイベントを視察しました。

平成30年11月13日
高校生版教育委員会
(於：県立横浜平沼高等学校)



県内高校から選出された高校生委員と教育委員会委員等で、県内高校を取り巻く諸課題について、「高校生版教育委員会」の場で、意見交換等を行いました。

平成31年2月2日
神奈川県立学校の児童・生徒表彰式
(於：県立総合教育センター)



他の児童・生徒の模範となる取組みをした、個人又は団体計35組について、表彰を行いました。

施設訪問

平成30年9月18日 県立津久井養護学校（施設見学、交流会の見学）

（右下は、養護学校の子どもたちが交代で県立相模原高校吹奏楽部の演奏の指揮を体験する様子）



平成31年1月17日

県立田奈高等学校（生徒の皆さんとの懇談、ぴっかりカフェ（居場所カフェ）の見学）



平成30年12月4日

県立川崎図書館（施設見学）



平成31年2月19日

厚木市立毛利台小学校（授業見学）



教育委員会委員は、教育現場の抱える課題等を直接受け止め、政策形成等に生かすことを目的として、県立学校・市町村立学校や図書館などの教育施設を訪問しています。

各訪問先で、施設や事業の概要の説明を受けるとともに、学校では、授業等の見学、教職員・児童・生徒の皆さんとの懇談などを行い、教育現場の現状把握に努めました。

4 教育委員会会議の開催実績

会議名 開催年月日	議案等		
4月定例会 H30. 4. 10	付議案件	神奈川県いじめ防止対策調査会規則の一部を改正する規則	1件
	報告案件	平成30年度神奈川県教科用図書選定審議会委員の委嘱等について	1件
	協議・その他 報告	神奈川県立の高等学校におけるいじめ事案に係る神奈川県いじめ防止対策調査会への諮問及び答申について	1件
4月臨時会 H30. 4. 24	付議案件	平成31年度神奈川県立の高等学校の入学者の募集及び選抜要綱について ほか	9件
	協議・その他 報告	平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の国旗掲揚・国歌斉唱の実施状況について	1件
5月定例会 H30. 5. 8	報告案件	県立高校新築工事請負契約の変更に対する意見の申出について	1件
	協議・その他 報告	平成29年度県立学校生徒対象のセクシュアル・ハラスメントに係るアンケート調査結果について ほか	3件
5月臨時会 H30. 5. 29	付議案件	教育委員会の点検・評価について	1件
	報告案件	神奈川県生涯学習審議会委員の委嘱について	1件
	協議・その他 報告	公私協調事業 神奈川の高校展 2018 全体事業計画について	1件
6月定例会 H30. 6. 12	付議案件	中学校「特別の教科 道徳」に係る平成31年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書選定に係る調査研究資料について	1件
	報告案件	神奈川県産業教育審議会委員の委嘱等について	1件
7月定例会 H30. 7. 10	付議案件	人事案件について ほか	6件
	報告案件	平成30年第3回県議会定例会への提案に係る意見の申出について	1件
	協議・その他 報告	「神奈川県内における公立夜間中学の新規開設等、義務教育を十分に受けていない方々に対する教育施策の充実を求める要望書」について	1件
7月臨時会 H30. 7. 25	付議案件	平成31年度神奈川県立高等学校等における学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）の決定について	1件
8月定例会 H30. 8. 7	付議案件	平成31年度神奈川県立中等教育学校の前期課程使用教科用図書の採択について ほか	4件
	請願	「2019年度に向けて、全日制を希望する子は全日制で、定時制を希望する子は定時制で、通信制を希望する子は通信制で、子どもたちが安心して学べるように、十分な条件整備をもとめる請願」について	1件
	協議・その他 報告	平成29年度公立中学校等卒業者の進路の状況について ほか	4件

会議名 開催年月日	議案等		
8月臨時会 H30. 8. 23	付議案件	平成31年度神奈川県立高等学校等使用教科用図書の採択について ほか	7件
	請願	「2019年度に向けて、全日制を希望する子は全日制で、定時制を希望する子は定時制で、通信制を希望する子は通信制で、子どもたちが安心して学べるように、十分な条件整備をもとめる請願」について	1件
	協議・その他 報告	平成29年度公立高等学校等卒業生の進路の状況及び平成29年度公立高等学校等生徒の異動の状況について	1件
9月定例会 H30. 9. 4	付議案件	人事案件について	1件
	協議・その他 報告	平成29年度障がい者雇用率について	1件
10月定例会 H30. 10. 9	報告案件	平成30年度神奈川県教育委員会表彰（優良PTA神奈川県教育委員会表彰）について ほか	3件
	協議・その他 報告	「卒業式・入学式における「起立・斉唱」が強制ではないことの「事前告知」を求めます」という要請について	1件
10月臨時会 H30. 10. 23	付議案件	県立高校改革実施計画（Ⅱ期）について ほか	5件
	報告案件	平成30年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県優秀授業実践教員表彰）について ほか	2件
	協議・その他 報告	第13期神奈川県生涯学習審議会答申について	1件
11月定例会 H30. 11. 6	付議案件	第14期神奈川県生涯学習審議会の委員委嘱について ほか	2件
	報告案件	平成30年度神奈川県教育委員会表彰（永年勤続職員表彰）について	1件
11月臨時会 H30. 11. 20	付議案件	人事案件について ほか	2件
	協議・その他 報告	平成30年度公立中学校等卒業予定者の進路希望の状況について ほか	6件
12月定例会 H30. 12. 25	付議案件	平成31年第1回県議会定例会への提案に係る申出について ほか	2件
	報告案件	知事及び副知事の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案に対する意見の申出について ほか	6件
	協議・その他 報告	「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」の神奈川県の結果について	2件
1月定例会 H31. 1. 15	付議案件	平成31年第1回県議会定例会への提案に係る意見の申出について ほか	4件
1月臨時会 H31. 1. 29	付議案件	かながわ文化芸術振興計画の改定案に係る意見の申出について ほか	6件
	報告案件	平成30年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県立学校の児童・生徒表彰）について	1件
	協議・その他 報告	学校に「思想・良心の自由」を実現する会からの要請書について ほか	3件

会議名 開催年月日	議案等		
3月定例会 H31. 3. 5	付議案件	教育職員免許法及び教育職員免許法施行法施行細則の一部を改正する規則 ほか	2件
	報告案件	平成30年度神奈川県教育委員会表彰(退職日付け永年勤続職員表彰) について ほか	2件
	協議・その他 報告	「憲法改悪阻止神奈川県連絡会議からの要請書」等について	1件
3月臨時会 H31. 3. 20	付議案件	神奈川県立の高等学校等の設置に関する規則の一部を改正する規則 ほか	10件
	協議・その他 報告	平成31年度神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査の結果について ほか	3件

5 教育委員会委員が出席した会議・行事等

年	月日	会議・行事等	場所
平成 30 年	4月 21日	神奈川県高等学校総合体育大会総合開会式	大和スポーツセンター
	4月 27日	歴史博物館再開記念式典	県立歴史博物館
	5月 10日 11日	1都9県教育委員会全委員協議会	長野県長野市
	5月 14日	川崎図書館移転・再開館記念式典	県立川崎図書館
	5月 14日	屋外広告物審議会	県庁新庁舎
	5月 19日 20日	あーすフェスタかながわ2018	県立地球市民かながわプラザ
	5月 26日 27日	ファミリー・コミュニケーション・フェスティバル	横浜公園
	5月 29日	平成30年度第1回 総合教育会議	県庁新庁舎
	6月 16日	神奈川の高校展2018「全公立展」	パシフィコ横浜
	6月 26日	神奈川県共同募金会評議員会	県社会福祉会館
	6月 28日	全国都道府県教育委員会連合会第1回理事会	都道府県会館
	7月 5日	施設訪問	独立行政法人久里浜医療センター
	7月 14日	全国高等学校総合文化祭派遣激励会	横浜市西公会堂
	7月 23日	全国都道府県教育委員会連合会第1回総会	北海道札幌市
	7月 24日	全国都道府県教育委員会連合会教育長・教育委員協議会合同分科会	北海道札幌市
	7月 26日	インクルーシブ教育推進フォーラム第1回	海老名市文化会館
	7月 29日 30日	全国高等学校野球選手権神奈川県大会閉会式	横浜スタジアム
	7月 31日 から 8月 2日	全国高等学校総合体育大会（2018東海総体）	三重県営サンアリーナ ほか
	8月 5日	かながわティーチャーズカレッジ記念講演	県立総合教育センター
	8月 7日 16日	かながわハイスクール議会2018	県庁新庁舎
	8月 8日	全国高等学校総合文化祭（2018信州総文祭）	長野県長野市 ほか
	8月 17日	教育委員会E-提案制度 研究成果発表会	県立地球市民かながわプラザ
	8月 21日	インクルーシブ教育推進フォーラム第2回	川崎市宮前市民館
	8月 22日	文化フェスタ2018	県立青少年センター
	8月 30日	屋外広告物審議会	横浜情報文化センター
	9月 6日 7日	1都9県教育委員会教育委員協議会	横浜市
9月 8日	ベトナムフェスタ・留学生スピーチコンテスト	県庁本庁舎	
9月 18日	施設訪問	県立津久井養護学校	

年	月日	会議・行事等	場所
平成30年	10月 20日	かながわ教育月間フォーラム	県立弥栄高等学校
	10月 25日	都道府県・指定都市教育委員研究協議会	文部科学省
	10月 26日	「いのちの授業」大賞最終審査会	教育委員室
	10月 27日	神奈川県高等学校総合文化祭総合開会式	鎌倉芸術館
	11月 1日	神奈川県図書館協会90周年記念式典	パシフィコ横浜
	11月 3日	かながわ人づくりコラボ2018	横浜市西公会堂
	11月 6日	平成30年度第2回 総合教育会議	県庁新庁舎
	11月 10日 11日	産業教育フェア	新都市ホール
	11月 13日	高校生版教育委員会	県立横浜平沼高等学校
	11月 14日	優良PTA神奈川県教育委員会表彰式	県庁本庁舎
	11月 21日	神奈川県優秀授業実践教員表彰式	県庁本庁舎
	12月 4日	施設訪問	県立川崎図書館
	12月 9日	「いのちの授業」大賞表彰式	県立地球市民かながわプラザ
	12月 19日	神奈川県教育功労者表彰式	県庁本庁舎
	12月 20日	全国都道府県教育委員会連合会第2回理事会	東京都港区
12月 21日	神奈川県共同募金会評議員会	県社会福祉会館	
平成31年	1月 13日	神奈川県高等学校総合文化祭総合閉会式	県立青少年センター
	1月 17日	施設訪問	県立田奈高等学校
	1月 18日	かながわ学力向上シンポジウム	県立総合教育センター
	1月 28日	全国都道府県教育委員会連合会第2回総会	東京都新宿区
	2月 2日	かながわ部活ドリーム大賞表彰式	県立総合教育センター
	2月 2日	神奈川県立学校の児童・生徒表彰式	県立総合教育センター
	2月 19日	施設訪問	厚木市立毛利台小学校
	3月 5日 6日	平成30年度神奈川県立総合教育センター研究発表大会	県立総合教育センター
	3月 28日	神奈川県共同募金会評議員会	県社会福祉会館

